

インターン体験記

MaWaSU2プロジェクトに、2月12日から3月30日まで同行して活動していましたJICAラオス事務所インターン生の三浦耀平です。このインターンシップに参加した理由としては、発展途上国の水道に関する現状を直接見ること、ラオスの水道に関する問題について自分なりの解決策を見つけることでした。

MaWaSU2の専門家の方々と一緒に活動する中で、自分の目的に関してはある程度達成することはできましたが、最も勉強になったことは、国際協力をする際のカウンターパートとの関係性についてです。海外のドナーが入っているプロジェクトでは、カウンターパート側がやるべき仕事についてもすべて海外のドナーがやってしまい、ラオス側が本質的には何も理解していないという場合があります。しかし、このプロジェクトでは、相手側がやるべきことに関しては、こちらは補助をするだけで、日本側が全てやってしまうということはありません。具体的には、水道事業ガイドラインのPI(業務指標)の改訂作業などは、日本の専門家が自分たちですべて改訂してしまい、それをカウンターパートに渡せば、見かけ上は国際貢献していることになります。しかし、このプロジェクトの終了後、ラオス側がPIを修正したい場合などに、ラオス側自身がその内容を理解していないと、PIの修正が不可能となってしまいます。そのため、このプロジェクトでは、PIの改訂作業については、カウンターパートと一緒に進めています。このように、国際貢献をする上では、自分たちのやり方にこだわるのではなく、相手側と共同して活動していくことがとても重要であるということを知ることができました。

最後に、短い間でしたが、MaWaSU2の専門家・通訳の方々、JICAラオス事務所、並びにカウンターパートの皆様、とてもお世話になりました。本当にありがとうございました。今後も発展途上国の水道の理解に努め、国際貢献できる人材になれるように努力していきたいと思います



Mr. Yohei MIURA

(Tohoku University, Faculty of Engineering)

Field of expertise: Civil Engineering

Working period: 12/Feb./2019 - 31/Mar./2019

My degree in my university is civil engineering. Especially, I'm interested in water engineering. Therefore, I'd like to focus on understanding the present conditions of water sector in Laos during this intern.

体験記 by Pictures

